

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	武山支援学校	課程・学科 教育部門・学部	知的障害教育部門 肢体不自由教育部門
-----	--------	------------------	-----------------------

### 1 学校のミッション

共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行う。

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通した一貫して教育を行うとともに、一人ひとりの障害の状態等に応じた就労支援の取組を充実させる。医療的ケアを必要とするなど、多様な教育的ニーズのある児童・生徒の教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障害及び健康等の状況に合わせた専門性の高い指導を実践する。加えて、授業のユニバーサルデザイン化などの取組実践をより推進し、一層の授業改善に取り組む。

また、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これらの学校と交流及び共同学習等を通した、児童・生徒の相互理解を図る。

### 2 学校教育目標

一人ひとりの児童・生徒を大切にした教育を行い、地域と保護者に信頼される学校・期待される学校づくりを通して、共生社会の担い手となる人の育成を目指し、社会の中で主体的に生きる力を育む。

- 自立と社会参加にむけ、一人ひとりの児童・生徒の能力に応じた指導・支援を行う。
- 授業改善と研究・研修を推進し、教育力を高める。
- 地域と共に、児童・生徒の「いのち」を守り、共生社会の担い手となる人を育てる。

### 3 計画策定時点での課題

- 知肢併置で小学部から高等部までの継続的な教育が行える三浦半島にある唯一の特別支援学校として、共に学びを深めることができる教育課程を編成していく。また、本校に通う児童・生徒及び保護者の期待に応えるべく、さらなる教育力の向上が必要である。
- 各学部のカリキュラムの系統性や連続性を図り、児童・生徒にとってわかりやすい授業づくり、安心して過ごせる学級づくりに取り組む。
- TMAP (Takeyama Messenger Action Project) を実現して、地域と相互理解しながら児童・生徒が活躍し、共生社会の担い手となるように、社会に開かれた教育課程編成に取り組む。
- 特別支援教育のセンター的な役割を果たし、ニーズに応じた学びを深めることができるように、関連機関と連携しながら、インクルーシブな学びの実現に向けて取り組んでいく必要がある。
- 人材育成とカリキュラムマネジメントを行い、個の資質に大きく依存しない組織を作り専門性の向上を図っていく。
- 「たやけま教育宣言」を実現し、さらに人権感覚を高めていく。
- 教職員が主体的に考えて取り組む働き方改革を実践する。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの教育内容を見直し、キャリア教育の観点から、系統的に再編成し、教育課程の改善を図る。	・自立と社会参加に向けて、キャリア教育の観点から、学びの連続性、学部間の系統性の構築に向けた教育課程を見直し、学習内容の検討を行う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	主体的に学び、課題を解決する力の獲得を目指し、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援に取り組むとともに「わかる」授業を行うための授業改善を行う。	・児童・生徒の実態を丁寧に把握し、個別教育計画に反映させるとともに児童・生徒のニーズに応じた教育活動を展開する。
3	進路指導・支援	地域での豊かな生活や「なりたい自分」を思い描き、自ら進路選択を実現できるような指導・支援を行う。	・児童・生徒や保護者が、卒業後の生活を具体的にイメージできるようにキャリアパスポート等を活用し、関係者間で共有をする。
4	地域等との協働	共生社会の実現を目指し、地域との連携や相互資源活用を通して、共生社会の担い手となる人を育てる。	・学校運営協議会を活用し、相互資源活用により、Takeyama Messenger Action Project (TMAP)を推進し、取り組む。 ・防災体制について、地域や近隣の施設と協力体制を整える。
5	学校管理 学校運営	安全な環境を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。 個の資質に大きく依存しない組織であり、人権を大切に「学び合い」「支え合う」組織づくりを促進する。	・防災教育を通して、児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるようにする。 ・全職員が主体的に課題意識を持ち、意識改革・校務の精選を行い、一人ひとりが自分の強みを生かし、より心理的安全性を向上させる学校づくりに取り組む。